

次期総合戦略の策定に向けた課題の整理

□みらい会議での意見

- ・子供の年齢が上がるにつれ、親の満足度が低下している可能性がある

{	乳幼児健診のアンケート：今後もこの地域で子育てをしていきたい人の割合（98%） 0～18 歳の子供を持つ親へのアンケート：子育てしやすさの満足度が約 61% （R6:71%）	}
---	--	---
- ・国の認定制度である「くるみん」「えるぼし」について、メリットも含め企業の認知度が低いと思われる。企業への働きかけ手法が不明瞭であり、先行きが見えない
- ・ KPI の数字が下がらない設定（累計）は好ましくなく、施策に対する変化量が分かるようにしたほうが良い（講座参加者数、提案型協働事業交付金の採択件数 等）

□本部会での意見

- ・くるみんや、えるぼし認定の前提となる特定事業主行動計画は、101 人以上の規模の事業所に策定義務があり、101 人未満の事業所は努力義務になっている。町内の事業所の状況を踏まえたときに、この指標が適切か疑問に感じる。

□プロジェクトチームでの意見

- ・基準値が高すぎる
- ・ 基本目標と KPI が連動していない。来年度策定するときには基本目標と KPI を連動させて、この指標（KPI）達成したら基本目標の達成に繋げていく必要がある。



KPI の項目についての意見が多数！！

グループワーク① 基本目標、基本的方向から考える将来のまちのイメージ

- A 妊娠出産子育てに寄り添っているまちってどんなまち？
- B 働きやすい、このまちで働きたいって思える魅力のあるまちとは？
- C 高齢者になっても、誰もが元気で楽しく活動できるまちとは？

グループワーク②

目指すまちのイメージに向かうには？

- 短期的な目線
- 長期的な目線

☆ポイント

- ・ KPI に縛られなくても大丈夫！・自分のイメージを言葉にしよう

第2期武豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略

第2期武豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略においては、本町における人口等の現状やアンケート結果等をふまえ、以下の**3つの基本目標**と**6つの基本的方向**を設定します。

基本目標1. 若者や子育て世代に選ばれるまちになる

基本目標2. 人を引き寄せ、地域経済を活性化させる

基本目標3. 次世代を育て、持続可能なまちをつくる

基本的方向

- I. 若い世代や子育て世代の目線で武豊町の魅力や住みやすさをアピール**するとともに、まちへの愛着心を育み、転入促進と転出抑制を図る
- II. ワーク・ライフ・バランスの実現や、働きながらも子育てがしやすい社会**に向けた取組を推進することで「子育てしやすいまち」としての魅力向上を目指す
- III. 企業・事業所の働き方改革や女性の活躍推進**への理解を深めるとともに、**人材不足の解消や雇用の安定**を図る
- IV. 武豊町の伝統産業や特色ある地域資源**を活用し、磨きをかけることで、**武豊町への人の流れ**をつくる
- V. 環境への理解を深めるとともに、将来のまちづくりを担う人材を育成し、カーボンニュートラルへの対応や多様な主体との連携等により地域の課題解決を図り、持続可能なまちづくり**をめざす
- VI. 高齢化の進展を見据え、誰もが元気に生きがいをもち、主体的に活動できる生涯活躍のまち**を目指す